

【取扱説明書の翻訳と記述スタイル】

アーケテックコム株式会社で、マニュアル作成と翻訳を行っています。
豊原 信です。



ウェブサイト：
<http://arc-tec-com.com>

Tel : 050-6864-6201

Fax : 050-6864-6202

E-mail : m.toyohara@arctecom.jp

翻訳品質のみでは審査に合格しない

こんにちは。

今月は、久しぶりに産業機械の取扱説明書の翻訳に関するお話を紹介します。それと恒例の「勝手応援メッセージ」です。

輸出対象国の審査

海外の市場に輸出する際に、必ず製品本体と合わせて取扱説明書の審査があります。これは、取扱説明書は工場製品の一部だからです。審査の内容は、その国のユーザーが読んで理解できるか、使用している用語は適切か、誤使用による事故を防ぐことができるか、などです。翻訳の精度も審査されます。さらに、安全に関する記述方法も審査されます。

翻訳の精度

今回は、英語原稿を基にアジア言語に翻訳しました。皆さん既にお気づきかと思いますが、英語からアジア言語に翻訳する方が、日本語から翻訳するよりも品質が安定し、かつ作業効率もよくなります。理由は、英語の文章は一般的

に、直接的な表現が多く、翻訳者の理解に振れが少ないからです。また、英語と翻訳言語間の情報量は、日本語と翻訳言語間の情報量の比ではありません。これらのことを考慮すると英語を基に翻訳する方がよいと言えます。

英語が基でも要注意

翻訳する上で注意が必要なのは、専門用語です。その業界の現場でどのような意味で使用されているかをしっかりと定義する必要があります。一般的な用途で翻訳すると、とんでもない誤訳に繋がる場合があります。今回の翻訳では、用語集がなく、専門用語が特異な意味で使用されていました。校正時に修正を入れることで、誤訳を防止することができました。誤訳防止を継続して行うには、用語集が不可欠です。

安全に関する記述

関連機関で審査を受けました。通常は、商品本体の安全な取り扱いに関する注意ラベルの見直しが主ですが、今回は、安全な取り扱い

に関する記述文章の追加要請が来しました。これを受け弊社で内容を吟味し、新たに追加する必要がないことを、クライアント様に説明しました。そして、クライアント様から関連機関に、再度申請をしていただきました。結果、追加は不要となりました。

今回、クライアント様の取扱説明書の安全に関する記述は、米国のルールに従って作成されていました。審査国の要請通りに修正すると、記述内容に矛盾を生じるという理由で、無修正で許可をいただきました。内容を説明しますと、国によって修正要請レベルの差があります。米国やEUはレベルが高く、彼らのレギュレーションやルールに適合するように要請してきます。この場合は従う方がよいです。我々のレベルも上がります。ところが、それ以外の国は要注意です。米国やEUを真似ているだけで、内容を正確に運用できていない場合があります。

このように、英語以外の他言語への翻訳では、翻訳以外の問題に対

応することが必要になってきます。

参考にさせていただければ、ありがたいです。

今月の応援メッセージです。

コツコツと積み上げる。

何でもないようなことでも、コツコツと積み上げる。

ひたむきに仕事をこなしていきながら、コツコツと積み上げる。

そうすると、とんでもないものが積み上がる、みんなが見てびっくりするようなものが積み上がる。それは、経験、ノウハウ。

それは、ネットワーク。

それは、お客様の数。

それは、信用。

これらには、素晴らしい価値がある。

金額に換算すると、とんでもないものになる。

これが活かされていない、本当に活かされていない。

社会のためにも、世のため、人のためにも、もったいない。

積み上がったものをどうするか？という観点で検討したことがない。

ただ、ひたむきにコツコツとやっていたら、でき上がったもの。

積み上がったものをどうするか？という観点で検討しよう！

自分でできなければ、誰かに依頼してもいい。

積み上がった、経験、ノウハウ、ネットワーク、お客様の数、信用を活かすことをしてください。

世のため、人のために。

使えない自分のポケットの中に入れていたのでは、もったいない。

是非、活かしてください。

あなたは、素晴らしい財産を持っている、コツコツと積み上げた財産を。

それを腐らせて、無駄にしないよう。

活かしましょう！

今日は、自分の積み上がった価値を意識してみてください。

きっと、素晴らしいものがありますから…

それが、あなたの生きてきた証です。

本当に、あなたは、素晴らしい！

これからも、活躍されることを期待しています！

がんばれ！

心に描いた「思い」を実現するために、真摯にコツコツと創意工夫を続けることが、大きく伸びる要諦です。

京セラ創業者の稲盛和夫氏が教えられている次の公式に当てはまります。

【人生の成果／仕事の成果】＝
【考え方】×【熱意】×【能力】

【考え方】は-100～+100

【熱意】【能力】は0～+100

豊原 信